

「奈良公園の案内書～極（きわみ）～」

監修：千田稔 編：奈良県 発行：株式会社角川アスキー総合研究所
令和6年(2024)3月8日発行 ID111375525

知れば知るほど面白い！ 奈良公園の“ものがたり”

17のテーマで奈良公園を深く知る！

国宝、世界遺産の名所を歩こう 古都散策の必携の書

テーマ

平城京/東大寺/正倉院/興福寺/春日大社/シカ/奈良国立博物館/

地形/景観/植生と植物/説話/ゆかりの歌/近代文学/

近世～明治の奈良/近現代建築/元興寺と「ならまち/伝統工芸

を紹介。

下記項目に奈良今昔写真WEBの写真を利用されたので紹介します。

◎テーマ その14 近世～明治の奈良

晒・刀・酒・などの商工業が発達し、明治中期には「奈良博覧会」が開催された。

第一次奈良博覧会は明治8年(1875)東大寺大仏殿と回廊で開催。奈良県内の寺社などが所有する文化財や正倉院宝物など展示、その後会場を奈良俱楽部(のちの奈良県公会堂)にも広め明治27年(1894)第十八次まで開催された。



奈良博覧会が開催された旧奈良県公会堂
大和名勝写真帖（大正4年発行）より



大正5年(1916)頃の国鉄奈良駅駅前広場
写真提供：吉田守氏

◎奈良の近代化を支えた鉄道

明治20年(1887)大阪府から分離した奈良県は近代化への道を歩み始める。寺社や名所旧跡の観光を目的に鉄道網が整備され奈良産業の発展に寄与した。明治23年大阪鉄道「奈良駅」開業。明治40年(1907)国有化され国鉄(現・JR)の駅となる。



竣工当時の日本聖公会奈良基督教会
写真提供：成瀬匡章氏

◎テーマ その15 奈良公園の近現代建築

歴史的な環境、風致形成との調和 そして「奈良らしさ」が生まれるまで。その過程で、奈良県の近代和風建築の一つの流れが形成された。日本聖公会奈良基督教会が昭和5年(1930)竣工された和瓦葺き屋根の和風建築の珍しい教会です。

掲載の写真は奈良県立図書情報館今昔 WEB より